

## 屋久島におけるチャイロヤッコ（キンチャクダイ科） の標本に基づく初めての記録

藤原恭司<sup>1</sup>・吉田朋弘<sup>2</sup>・本村浩之<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 〒 890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20 鹿児島大学大学院水産学研究所

<sup>2</sup> 〒 851-2213 長崎市多良良町 1551-8 水産研究・教育機構 西海区水産研究所

<sup>3</sup> 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

### はじめに

キンチャクダイ科アブラヤッコ属 *Centropyge* は、日本国内から 12 種が記録されている（島田, 2013）。

2019 年 2 月 3 日に屋久島一湊の水深約 19 m から 1 個体のアブラヤッコ属魚類が採集された。その後、この標本（KAUM-I. 127639）は形態・色彩的特徴からチャイロヤッコ *Centropyge fisheri* に同定された。本種は日本国内では伊豆諸島から宮崎県日南の太平洋沿岸、琉球列島（大隅諸島を含む）、および小笠原諸島から記録されており（島田, 2013；Motomura and Harazaki, 2017）、このうち、屋久島の記録は水中写真に基づく記録で、これまで標本は得られていなかった。したがって、上述の個体はチャイロヤッコが屋久島に生息することを証明する証拠標本となるため、ここに報告する。

### 材料と方法

計数・計測方法は Randall and Yasuda (1979) にしたがった。標本の作製、登録、撮影、および固定方法は本村（2009）に準拠した。標準体長は体長または SL と表記した。計測はデジタルノギスを用いて 0.1 mm 単位まで行った。本報告で用い

た標本は鹿児島県屋久島産の 1 標本 [KAUM-I. 127639, 体長 42.1 mm, 一湊 (30°27'35"N, 130°29'17"E), 水深 18.8 m, 手網, 2019 年 2 月 3 日, 藤原恭司] で、鹿児島大学総合研究博物館 (KAUM) に保管されており、生鮮時の写真 (Fig. 1) は同館のデータベースに登録されている。

### 結果と考察

鹿児島県屋久島産の 1 標本は、間鰓蓋骨下縁が鋸歯状、下鰓蓋骨に棘をそなえる、体側中央部鱗の鱗紋中心が露出する、尾鰭が截形で上下葉が伸長しない、眼周囲が被鱗することなどの特徴から Pyle (2001) が定義した *Centropyge* 属に同定された。さらに、尾鰭後縁が僅かに丸い、体は全体的に茶褐色で、黄色域がない、体中央部に白色斑がない、鰓蓋上部後方に淡色斑がない、腹鰭棘と腹鰭第 1 軟条、臀鰭縁、および背鰭縁（第 1-3 棘を除く）が輝青色、および胸鰭と尾鰭が淡黄色であることなどの特徴が吉野・瀬能（2008）と島田（2013）が示したチャイロヤッコ *Centropyge fisheri* の特徴によく一致した。

本標本の計数・計測形質は以下のとおりである。背鰭条数 XIV, 15；臀鰭条数 III, 17；胸鰭条数  $i + 13 + i$ ；胸鰭条数 I, 5；尾鰭条数  $i + 15 + i$ ；側線有孔鱗数 35；縦列鱗数 44；側線上方鱗数 6；側線下方鱗数 16；尾柄鱗数 12；鰓耙数 4 + 14。体各部測定値の標準体長に対する割合（%）体高 47.4；体幅 19.0；頭長 29.7；吻長 8.7；眼径 9.4；両眼間隔 8.6；前鰓蓋棘長 9.8；尾柄高 10.9；尾柄長 11.6；背鰭前長 34.6；腹鰭前長 33.3；臀鰭前長 60.6；背鰭基底長 68.3；背鰭第 1 棘長 6.0；背鰭第 2 棘長 9.5；背鰭第 3 棘長 12.3；背鰭最後棘長

Fujiwara, K., T. Yoshida and H. Motomura. 2019. First specimen-based record of *Centropyge fisheri* (Pomacanthidae) from Yaku-shima island, the Osumi Islands, Japan. *Nature of Kagoshima* 45: 217-219.

✉ KF: Graduate School of Fisheries, Kagoshima University, 4-50-20 Shimoarata, Kagoshima 890-0056, Japan (e-mail: kyojifujiwara627@yahoo.co.jp).

Published online: 9 February 2019

[http://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK\\_045/045-037.pdf](http://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_045/045-037.pdf)



Fig. 1. Fresh specimen of *Centropyge fisheri* (KAUM-I. 127639, 42.1 mm SL) from Yaku-shima island, Osumi Islands, Kagoshima Prefecture, Japan. Both photographs were taken soon after the fish was captured, the top image against a black background, the bottom against a white.

17.0; 背鰭最長軟条長 15.7; 臀鰭基底長 37.4; 臀鰭第 1 棘長 9.2; 臀鰭第 2 棘長 13.8; 臀鰭第 3 棘長 13.8; 臀鰭最長軟条長 18.6; 尾鰭長 22.2; 胸鰭

長 24.4; 腹鰭棘長 18.5; 腹鰭長 24.3.

チャイロヤッコの屋久島における記録は吉野・瀬能(2008)の水中写真に基づくのみで(Motomura

and Harazaki, 2017), これまで本種の標本は得られていなかった. しがたって, 本標本 (KAUM-I. 127639) はチャイロヤッコの屋久島における標本に基づく初めての記録となる.

#### ■ 謝辞

本報告を取りまとめるにあたり屋久島ダイビングサービスもりとうみの原崎 森氏には採集にご協力いただいた. 鹿児島大学総合研究博物館ボランティアの皆さまと同館魚類分類学研究室の皆さまには標本の調査にご協力して頂いた. これらの方々に謹んで感謝の意を表す. 本研究は鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」の一環として行われた. 本研究は鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」の一環として行われた. 本研究の一部は JSPS 科研費 (19770067, 23580259, 24370041, 26241027, 26450265), JSPS 研究拠点形成事業 - B アジア・アフリカ学術基盤形成型, 国立科学博物館「日本の生物多様性ホッ

トスポットの構造に関する研究プロジェクト」, 文部科学省特別経費「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点整備」, および鹿児島大学重点領域研究環境 (生物多様性・島嶼プロジェクト) 学長裁量経費の援助を受けた.

#### ■ 参考文献

- 本村浩之. 2009. 魚類標本の作製と管理マニュアル. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 70 pp.
- Motomura, H. and S. Harazaki. 2017. Annotated checklist of marine and freshwater fishes of Yaku-shima island in the Osumi Islands, Kagoshima, Southern Japan, with 129 new records. *Bulletin of the Kagoshima University Museum*, 9: 1-183.
- Pyle, R. L. 2001. Pomacanthidae. Pp. 3266-3286 in Carpenter, K. E. and V. H. Niem (eds.), *FAO Species Identification Guide for Fisheries Purposes. The Living Marine Resources of the Western Central Pacific. Vol. 5.* FAO, Rome.
- Randall, J. E. and F. Yasuda. 1979. *Centropyge shepardi*, a new angelfish from the Mariana and Ogasawara Islands. *Japanese Journal of Ichthyology*, 26: 55-61.
- 島田和彦. 2013. キンチャクダイ科. Pp. 1005-1015, 2025. 中坊徹次 (編). *日本産魚類検索 全種の同定, 第三版.* 東海大学出版会, 秦野.
- 吉野雄輔・瀬能 宏. 2008. *山溪ハンディ図鑑 13 日本の海水魚.* 山と溪谷社, 東京. 543 pp.